

— 亀山市と交流のある自治体を紹介・交流イベントの案内 —

亀山市では、産業の活性化、災害時応援、文化の質の向上などを目的に、各市と協定などを結び、お互いの市の発展に貢献できるよう交流しています。

そのなかで、交流自治体(7自治体)との交流イベントを亀山市で開催します。

そこで今回は、交流自治体の紹介やその特産品などをご紹介します。

**ぜひ、交流自治体特産品フェアへ！
また、市外へお出掛けの際は、
交流自治体へ訪問してみませんか？**

問合先

産業建設部産業振興課 (☎84-5049)

亀山市交流自治体 特産品フェア

※下記の7自治体の魅力発信と特産品の展示販売

4月30日(振休・月)

午前10時～午後4時 ※荒天中止

**亀山サンシャインパーク公園内 屋上広場
(亀山パーキングエリア上り線)**

※一般道からも入場できます。

岡山県高梁市

亀山市との関係 (災害時相互応援に関する協定)

現存12天守のなかで唯一の山城「備中松山城」やベンガラ色の外観で統一された「吹屋の町並み」、伝統行事の「備中たかはし松山踊り」「備中神楽」「渡り拍子」をはじめ、数多くの歴史的価値の高い建造物や町並み、文化遺産を有した、豊かな美しい自然が残るまちです。

昨年には観光案内所やカフェ等を併設した高梁市図書館が開館し、1年間で約66万人の来館者があるなど、新しいにぎわいが生まれています。

特産品 ピオーネ、白桃、トマト、芍薬、紅茶、菓子(ゆべし、神楽面最中など)、鮎料理など



大阪府羽曳野市

亀山市との関係 (日本武尊・白鳥伝説三市交流)

府南東部に位置し、日本最大の体積を誇る「応神陵古墳」や日本武尊伝説を伝える「白鳥陵古墳」を含む日本有数の大型古墳が密集する古市古墳群があり、大阪府、堺市、藤井寺市とともに「百舌鳥・古市古墳群」として世界文化遺産の登録を目指しています。また、平成29年度に日本遺産に認定された日本最古の官道“竹内街道”など、数多くの歴史文化資産があふれています。

特産品は、デラウェア種の河内ぶどう、そのぶどうを使用したワイン、はびきの特産のいちじくを使ったジャムなどが人気です。

特産品 ぶどう、いちじく、さいぼし、うすい碗豆、ワインなど



大阪府泉佐野市

亀山市との関係 (特産品相互取扱協定)

大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、北西部は大阪湾に面し、南東部は和泉山脈を境として和歌山県と接しています。商・工・農・漁業がバランスよく栄えてきましたが、関西国際空港の開港などに伴う人口の増加とともに、商業・サービス業が盛んになっています。

特産品は数多く、なかでも夏が旬の水ナスは「浅漬(け)」として、全国に多くのファンがいます。また、日本タオル発祥の地として130年の歴史があり、そのタオルは肌触りがよく、吸水性に優れています。

特産品 水ナス、松波キャベツ、玉ねぎ、わたりがに、アカシタビラメ、泉だこ、がっちょ、地酒、泉州タオルなど



青森県五所川原市

亀山市との関係（災害時相互応援に関する協定）

津軽平野のほぼ中央に位置し、津軽三味線発祥の地。作家太宰治の生家「斜陽館」、中世安藤氏の十三湊遺跡群、さらには知名度が全国区となった夏祭り「五所川原立佞武多」といった歴史文化資源を擁し、農林水産業を基幹産業とする豊かな自然に恵まれた田園都市です。

また、品種「ふじ」に比べて4倍のカルシウムや3倍のポリフェノールを含むなど栄養価が高く、果皮や花、果肉まで赤い特徴の珍しい品種「赤〜いりんご御所川原」や、実が厚く旨味も強く、オルニチンを多く含んでいる十三湖特産ヤマトシジミなど、多くの地域資源があります。

特産品 干し餅、赤〜いりんご、つくね芋、北限の梅漬、津軽金山焼、馬肉、トマト、市浦牛など



滋賀県甲賀市

亀山市との関係（「伊賀・甲賀・亀山」広域連携プロジェクト）

県最南部に位置し、三重県、京都府と隣接。大阪、名古屋から共に100km圏内という関西圏と中部圏の結節点にあり、国道1号とJR草津線、新名神高速道路が市内を横断する広域交通の拠点地域です。そうした優位性を活かし、内陸部にある滋賀県において、工業製品出荷額は10年連続県内1位を続けています。

また、陶器、薬、茶、酒、野菜など地場の特産品は幅広く、特に「日本六古窯・信楽焼」と「甲賀忍者」は、日本遺産に認定されています。

特産品 信楽焼、薬、朝宮茶・土山茶、地酒、水口かんぴょう、杉谷なす、鮎河菜など



三重県伊賀市

亀山市との関係

（「伊賀・甲賀・亀山」広域連携プロジェクト）

伊賀流忍術発祥の地として知られている伊賀市は、忍者の歴史文化や精神の継承、忍者を活かした観光誘客やまちづくりを進める目的で「忍者市」を宣言し、また「伊賀忍者」が日本遺産の認定を受けました。

さらには、豊かな自然が育んだ伊賀牛や伊賀米などの素晴らしい食材やユネスコ無形文化遺産に登録された「上野天神祭のダンジリ行事」をはじめ、国指定の伝統的工芸品の「伊賀焼」「伊賀くみひも」、俳聖松尾芭蕉や横光利一のふるさととして広く知られており、歴史薫る地域です。

特産品 伊賀米、伊賀牛、伊賀焼、伊賀くみひも、伊賀酒、かたやき、漬物（養肝漬・伊賀越漬）、菜種油など



奈良県御所市

亀山市との関係（日本武尊・白鳥伝説三市交流）

県北西部に位置し、市の西部には金剛山・葛城山が峰を連ね、南東部は平地の広がる緑豊かな田園都市です。

特産品には、古くからハップサンダル、製薬、吉野葛などの製造が行われ、農業は、近年では柿の原種である御所柿や山の芋等の地域特産物の栽培が行われています。また、大阪近郊にありながら自然豊かで、特に一百万本と言われるつつじの名所（葛城山）をはじめ、役行者ゆかりの事跡などにも恵まれ、多くの観光資源を持っています。

特産品 ハップサンダル、薬、吉野葛、御所柿、山の芋、醤油、地酒など



※ここで紹介している特産品は一例です。特産品フェアに出品される内容と異なる場合があります。また、ここに掲載できなかった特産品も多数出品されます。